

岡山市づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成 年 月 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ

団体名 岡山市中区平井学区安全安心ネットワーク

所在地

連絡先

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) <input checked="" type="checkbox"/> ア 地域課題解決 <input type="checkbox"/> イ 地域課題掘り起し <input type="checkbox"/> ウ 地域計画づくり <input type="checkbox"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="checkbox"/> オ その他
事業名称	平井学区地震・津波・洪水からの避難マップ2016の作成と活用
事業実施区域(小学校区)	岡山市立平井小学校区
事業実施回数	新規 <input type="checkbox"/> 繼続 <input checked="" type="checkbox"/> 回目 (年度から)
事業の目的	<p>①地域住民の、地震・津波・洪水・がけ崩れ等の災害からの避難に必要な情報をマップに整理する。作成したマップを地域で活用することにより、地域の安全の向上を図る。</p> <p>②平井小学校児童が作成した「通学途上時に地震が発生した時の安全確保に必要な情報」を整理してマップに盛り込む。これを活用し、児童の通学時の安全性を高める。</p> <p>③高齢者・障がい児（者）を支援・捜索する時に必要な「誰がどこにいるか？」「捜索しなければならない範囲はどこか？」といった、共有化すべき事項を整理しマップに盛り込み、完成後活用する。</p>
事業の必要性	<p>① 避難に必要な情報をマップに整理し活用 被害者を最小限に食い止めるために必要な基本的事業である。</p> <p>② 通学途上時に地震が発生した時の安全確保に必要な情報をマップに整理し活用 6年生を中心とした上級生が、1・2年生というまだ幼い低学年を災害から守りながら緊急対応するために必要な情報をわかりやすいマップに整理する必要がある。</p> <p>③ 高齢者・障がい児（者）を支援・捜索する時に必要な情報をマップに整理し活用 要支援者を災害時に効率的に支援するためには必要な事業である。</p>

事業の内容	<p>①避難に必要な情報をマップに整理し活用 2012年（平成24）年に作成した「岡山市中区平井学区地震・津波・洪水からの避難マップ」活動の経験を元に、その後明らかになった新しい情報を盛り込み整理し、地域で共有化をより進める事業内容である。</p> <p>②通学途上時に地震が発生した時の安全確保に必要な情報をマップに整理し活用 平井小学校の5年生全児童が2014（平成26）年度に取り組んだ、通学時に震災が発生した時の対応マップを整理しマップに盛り込む。これにより全児童が情報を共有化しやすくする事業内容である。</p> <p>③高齢者・障がい児（者）を支援・捜索する時に必要な情報をマップに整理し活用 高齢者対応は、2014（平成26）年秋に地域と山陽学院大学・山陽学院短期大学と協働で実施した「認知症カフェ」の経験を継承する事業内容である。高齢者の災害時・平常時の備え（地域の人間関係・情報の共有）について情報の整理・共有を図る。 障がい児（者）対応は、対象者が所在不明になった時、支援者が探すための地理情報（路地・抜け道・あぜ道・水路等の危険個所）の共有を図り、行動に移す時（一緒に探す）助けになる事業内容である。</p>
期待される成果	<p>①避難に必要な情報をマップに整理し活用 住民のより安全な避難行動の助けになる成果が期待される。</p> <p>②通学途上時に地震が発生した時の安全確保に必要な情報をマップに整理し活用 小学生が安全確保をしようとする活動を助ける成果が期待される。</p> <p>③高齢者・障がい児（者）を支援・捜索する時に必要な情報をマップに整理し活用 高齢者・障がい児（者）への支援がより効果的になる成果が期待される。</p>
企画などの工夫	<p>①地域団体に加え、学区内の学校・園と協働して資料を収集する。</p> <p>②学区危険個所点検や公開講座ワークショップ等、マップ作成段階から参加を図る。</p> <p>③完成したマップを学区に配布するだけでなく、地域説明会・授業等で啓発を実施する。</p> <p>④2012（平成24年度）に作成、配布したマップの保管と活用状況を調べ、マップの情報更新時の仕様や配布方法の改善につなげる。</p>
事業の情報公開	<p>①2016（平成28）年元旦に、学区全世帯に学区の新聞「平井だより」付録として配布する。</p> <p>②学区のホームページ（http://townweb.e-okayamacity.jp/hirai-rengou/）に掲載することにより、デジタルデータとしても、プリントアウトしても使用できるようになる。</p> <p>③授業等でも活用することにより、親子・家族で情報を共有できるようにする。</p>
次年度以降の予定	<p>前回のマップ作製活動は、2012年（平成24）年に実施した、その後経緯を見守ってきた。配布されたマップは、単に町内会の掲示板・アパートの掲示板にも張り出しているが、色があせてきている。 災害対策啓発活動は、少なくとも4～5年に1度は改良しながら繰り返し実施する必要がある。本事業が完了した後も数年間見守っていく予定である。</p>
その他PRしたい点	<p>※小学校区より小規模（単位町内会等）で実施の場合は、広がりについても記入してください。</p>

事業スケジュール

				6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
企画会議							第1回 企画会 議	第2回 企画会 議	第3回 企画会 議	第4回 企画会 議	第5回 企画会 議	第6回 企画会 議	第7回 企画会 議	
準備・会議			現地調 査・資 料整理	現地調 査・資 料整理	現地調 査・資 料整理	毎週作 業会	毎週作 業会	毎週作 業会	毎週作 業会	毎週作 業会	毎週作 業会	毎週作 業会	毎週作 業会	
事業執行							危険箇 所点検 のデータ 組み込 み／ 小学生 作成デ ータの 組み込 み	マップ 編集	マップ 校正	第4回 企画会 議でマ ップ原 稿確定 印刷	マップ 配布・ 説明会	マップ 説明会	マップ 説明会	マップ 説明会
反省会												反省会 準備	第7回 企画会 議で反 省会実 施	
監査 報告会												監査準 備	第7回 企画会 議で監 査実施	
次年度 企画会議											次年度 企画検 討	次年度 企画検 討	第7回 企画会 議で次 年度企 画実施	